

動物実験結果報告書の提出について（2020年2月版v1）

市瀬 広武（医学部附属動物実験施設・動物実験委員会 副委員長）

- 1) 承認期間が2019年度（2020年3月まで）だった動物実験計画に対応する、動物実験結果報告書（別記様式3、最新の様式は0200302修正版）を提出してください。動物実験計画の種類（試験・研究、教育・実習、繁殖・維持）にかかわらず、別記様式3での提出をお願いします。既に提出済み場合は、再度提出する必要はありません。
- 2) 「3. 実験の結果」では、実験成果の概要を記載してください。未実施、あるいは中止であった場合は、動物を一切使用（飼育を含む）しなかったのか、動物を飼育しているが実験を実施しなかったのかを記載してください。
- 3) 「4. 使用動物」では、動物種と総使用動物数（出生後または孵化後の動物数）を記載してください。系統の詳細や性別は省略しても構いません。繁殖を伴う実験であった場合、交配に用いた動物数と、生産した動物数（概数）を合計して記載してください。使用動物数が100を超える場合、10の位の四捨五入でお願いします。
- 4) 「5. 成果」には、論文、図書、特許や学会発表などについて記載してください。投稿中、申請中、発表予定についての記載でも構いません。学生実習の場合は、教育において当該実習が果たした役割について簡潔に記載してください。
- 5) 「6. 特記事項」にある、**3Rsの原則に関する質問**に答えてください。□にチェックをつけ、「問題があった」、または「該当なし」の場合は、必ず理由を記載してください。「適正だった」場合も、判断理由を簡潔に記載してください。
- 6) 「6. 特記事項」にある、**計画終了後の動物（生体）の残存についての質問**に答えてください。「有」にチェックをつけた場合は、その理由についてのチェックや、必要があれば説明文の記載をお願いします。「他の承認済み動物実験計画で継続使用する」場合は、必ず承認番号を記載してください（次期計画の学長承認を得た後に報告書を提出するようになしてください）。
- 7) 動物の飼育も「動物実験（教育・研究目的での動物の使用）」であることに注意してください。動物の使用を終了する場合は、安楽死処置後の処分、生体の譲渡あるいはリリースなど、動物種とその使用状況に応じた適切な方法で、動物生体の残存がない状態としてください。飼育を継続する場合は、次年度動物実験計画の申請をお願いします。
- 8) 動物実験責任者が異動、卒業、退職などで既に本学を離れている場合は、動物実験実施者や所属研究室の責任者が代わりに報告書を提出してください。また、上記7の対応をお願いいたします。

問い合わせ先（メールにてお問い合わせください）
市瀬 広武（h-ichise@med.u-ryukyu.ac.jp）